

平成17年6月1日

3号機残留熱除去系（A）ストレーナの金網の不具合について

3号機は定期検査中ですが、圧力抑制室内の水中に設置されている残留熱除去系*¹配管入口ストレーナ*²の点検を実施していたところ、平成17年5月31日午後3時15分頃、当該系統（A）のストレーナの吸い込み口であるパンチングメタル（鋼板に直径12ミリの穴が配置されているもの）を覆っている金網の当該パンチングメタルの穴の位置に約8ミリ×約5ミリ（通常の網目：約1.5ミリ×約1.5ミリ）の破れが1箇所あることを当社社員が確認しました。（添付「残留熱除去系概略図」参照）

また、これ以外にパンチングメタルの穴部以外のところでも金網が破れている箇所が13箇所（A系10箇所、B系1箇所、C系2箇所）確認されましたが、これは吸い込みをしていない位置です。

今後、原因について調査するとともに、補修をいたします。

なお、これによる外部への放射能の影響はありません。

以上

*1：残留熱除去系

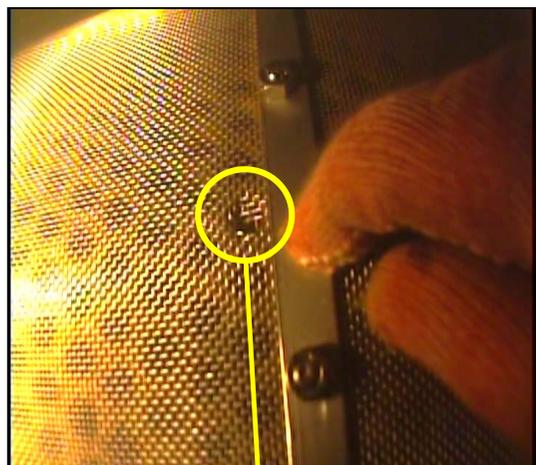
原子炉を停止した後の燃料の崩壊熱の除去（燃料の冷却）や非常時に原子炉水位を維持する系統（A系，B系，C系の3系統ある）。

*2：ストレーナ

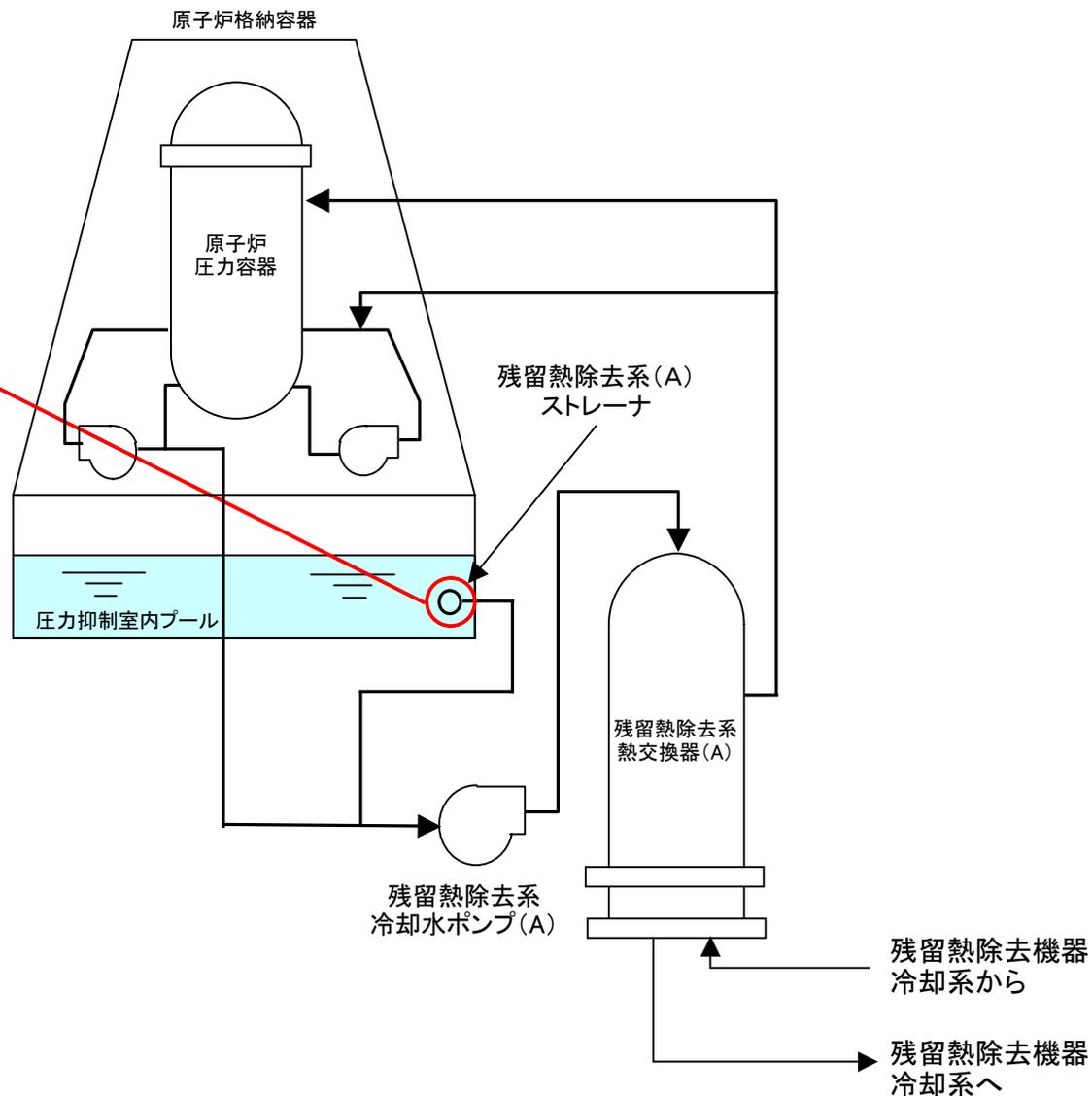
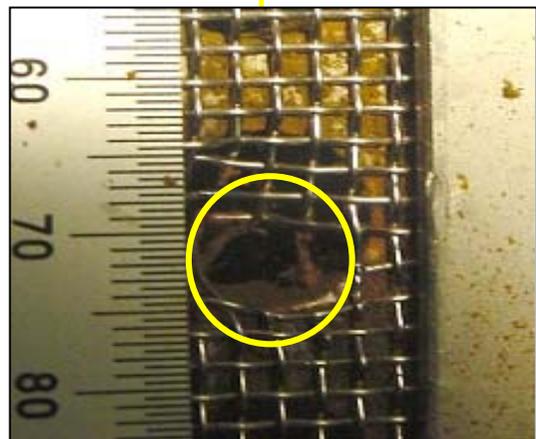
残留熱除去系の水源である圧力抑制室内プールに異物があった場合にポンプに吸い込まれてポンプ等に悪影響を与えるのを防止するため、プール内の配管入口に設置されている。

「当社原子力発電所における不適合事象の公表方法の見直しについて」（平成15年11月10日お知らせ済み）における、区分Ⅲに該当するものとしてホームページに掲載したものです。

ストレーナの金網破れ箇所



拡大



残留熱除去系概略図